

桜の聖母短期大学

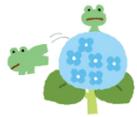
親と子の広場

小さなクラスの

さくらっこだより

火・金曜日

2016年6月号



5月は、こども保育コースの2年生が3週間の幼稚園教育実習のため、私たち教員も実習園を訪問する毎日でした。その間、親と子の広場をお休みすることになり、申し訳ございませんでした。6月も行事や施設実習があり、お休みの日がありますので、さくらっこだよりやホームページで開催日程をご確認いただきますようお願いいたします。また、長い夏休みを予定していましたが、保護者の皆様の声にお応えして、9月と2月に開催日を追加することとなりました。これからも出来るだけご要望に応えられるようにしていきたいと思しますので、お気づきの点がございましたら、スタッフにお声掛けください。

6月の小さなさくらっこだでも、自分のやりたい遊びが満足ゆくまで出来るように、みんなで見守ってあげたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

文責 奥田美由紀

5月の広場より

今日のおやつは「イチゴ、いっぱい！」

小麦粉粘土に誘うと、「粘土する！」と言って始めたYちゃん(2歳3か月)。小麦粉・塩・食紅を入れたところでボウルに手を入れてみようかと声を掛けてみると、恐る恐る手を入れました。しかし、すぐに嫌そうな顔をして「手、洗う」と一言。お母さんと手を洗った後は、粘土のところに戻らず、他の遊びをはじめました。初めての感触にびっくりしてしまったかな？そこで、私がこねて、手に付かない固さの粘土を作ってからまた誘ってみました。

「Yちゃん、いちご作ったよ」と話しかけると、果物が大好きなYちゃんは、興味をもってくれました。私は両手で粘土を挟んでくるくと丸めて見せました。それを見て、Yちゃんも粘土を両手で挟み、その粘土を透明なパックに入れていきました。そこで次に私は、赤い粘土を球状にしてYちゃんに渡してみました。すると両手のひらでコロコロと転がしていました。「葉っぱも付けてあげようね」と緑の粘土を少しちぎって付けてあげると本物のイチゴみたい！ニコニコ顔になって満足してくれたようです。

パックにイチゴをたくさん詰めると、テーブルにいたお母さんのところに持って行きました。一番にご馳走したいのは、やはり大好きなお母さんですね！お母さんは嬉しそうに受け取ってくれました。



しばらく遊んだ後、親子でテーブルについて麦茶を飲んでいたときのこと。少し前に作ったパックの中のイチゴやみかんを手でちぎって(餅のように伸ばして)、食べる真似をしておやつにしていました。

今日はイチゴを何個食べたかな？



紙芝居が始まるよ♪

「紙芝居が始まるよ～」と声を掛けると、Yくんは、紙芝居を構えた私のひざに座りました。去年まで広場に来ていたHくんを思い出します。Hくんは、絵本や紙芝居を見るよ～と言うと、いつも私の膝に座ったのです。それをYくんは見ていたのでしょうか。そして、いつか僕も！と思っていたように感じました。自分より大きい子がしていることをじっと見ている、その時はやらずに、その大きい子がその場に居ないときにやってみる姿も良く見えます。子どもはよく見て、見て学んで、いつか試してみるのですね。

子ども達はいつも絵本や紙芝居を楽しみに集まってきます。お話の楽しさを知っているのですね。動物がおいしいものを食べるシーンでは、Yくん（1歳11か月）も、Yちゃん（2歳3か月）も、動物たちと一緒においしい顔になっていました。これからもお話の世界を楽しんでいきましょう。

賑やかで楽しい1日

5月13日（金）は、9名の子ども達が遊びに来てくれました。4月以降、幼稚園に入園したお友達やお引越したお友達がいて、ぐんと参加人数が減っていたので、久しぶりに賑やかさを感じた一日でした。

Mくん（3歳5か月）とも久しぶりの再会でした。すっかり日に焼けていてたくましく感じました。お庭でたくさん遊んだことを話してくれました。以前のようにAくんとおもちゃを取ったり取られたり……。お互いが遊んでいるものが魅力的に見えるのでしょうか。友達に興味があっても、どうしたらよいのか……。 「一緒に遊ぶ」ということがこれから上手になってくる手前の時期ですね。妹のHちゃん（2歳3か月）は、以前、広場に来てもなかなか慣れない様子が見られましたが、今日は違いました。玄関に入ってすぐにニコニコ顔で、声を出してお兄ちゃんの後を着いて歩き、いつでも一緒にいたい様子。数ヶ月ぶりに会うと、その成長ぶりに驚かされます。



SくんとRちゃんは、同じ7か月。お母さん同士も自然に話が合います。そして、お互いの子どもの気持ちも理解しているかのように遊んであげています。Rちゃんは、うつぶせで自由に動くようになりました。この1ヶ月でこの成長！ Sくんは、誰にでも優しい笑顔を向けてくれて、いつも学生たちに囲まれています。

Jくん（1歳5か月）もAくん（3歳）の向い側で同じようにしています。Aくんがアイロンビーズをざざーっとあけると、同じようにしてみます。大きな声で自己主張はしないけれど、興味があることに自分で向かっていき、黙々と遊んでいるJくんは頼もしい限りです。

Hくん（2歳9か月）は、大好きなトミカで遊んでいました。しかし、他の子が自由に持って行ってしまいます。しかし、Hくんは何も言いません。私が近くにいるときは、「一緒に返して、って言ってこよう」と誘います。（しかし、私とは一緒に行かずに、いつも大好きなお母さんと一緒に行きます）。今日は、お母さんは妹のCちゃん（8か月）を抱いているので、思わず積み木に顔をうずめてしまいました。それを見ていた学生は、一生懸命Hくんに話しかけています。その思い、Hくんの心に届いたかな？

妹のCちゃんは、私が抱いてしばらくすると泣きだして、お母さんに抱かれるとぴたっと止みます。やはりお母さんにはかないません。床に仰向けになって、周囲をきょろきょろ見て楽しんでいる姿が印象的でした。しっかり見て、何でも分かっているんだろうなあ……。



まねっこ

Aくん(3歳)が手を洗い始めると、Yくん(1歳11か月)もトコトコとやってきました。Aくんがハンドソープを出すと、Yくんも出します。次にAくんはスポンジに水を含ませ始めましたが、スポンジは一つしかありません。すると、Yくんはペーパータオルを水につけて絞ったりぬらしたりしてスポンジの代わりのようにしていました。人が使っているものを取ったり、泣いて「欲しいよー」と訴えることもなく、自分で考えて代用品を見つけて遊んでいる姿に驚きました。スポンジが欲しいのかなと思い、新しいスポンジを出してYくんに渡すと、Aくんと同じように水道の水をスポンジで受けて、スポンジから水がこぼれる様子とじっと見つめていました。

広場では、友達が遊んでいる姿を見て刺激となり、真似をしてみることが良くあります。今回、Yくんは隣ですぐに始めました。Aくんもそれを受け入れてくれました。



兄妹って、いいなあ

お兄ちゃんのAくんは、3歳。妹のRちゃんは、生後2か月。2人目が誕生すると、お母さんは大忙しですよね。Aくんは妹のRちゃんの横に寝て見つめたり、ちょっと強引に抱きついたりしていますが、お母さんは止めません。お兄ちゃんが妹をかわいがりたいその気持ちを尊重してあげているお母さんでした。学生たちも、兄妹の姿を見て、自分が小さかった頃のことと重ねてみているようです。

みんなこうしてたくさんの人に愛されて育ってきたんですね。



小麦粉粘土の楽しみ方①

小麦粉粘土の材料を用意して待っていると、Aくん(3歳)が興味を示しました。私と一緒に材料を一つずつ入れながら、出来上がった粘土で「じーじのぶっぷ」(おじいちゃんの車)を型抜きで抜いて遊びました。しかし、その遊びはすぐに終わり、新たに材料を混ぜようと張り切って立ち上がりました。

まず、ボウルに水を入れ、食紅を入れました。勿論、Aくんの大好きな「青」です。お母さんや学生、周囲のみんなが「きれいーい！」と歓声を上げ、Aくんもニコニコです。その青い水を、ペットボトルにじょうごで入れることにしました。Aくんはこぼれないように慎重に流し込み、青いジュースが出来上がりました。

今度はボウルに小麦粉・食紅(様々な色)など、あるものすべてを入れ、さらに青い色水もすべて入れました。ボウルから溢れそうで大人が慌てているのも気にせず、Aくんは水道のところに行き、2本のペットボトルに水を入れ始めた。「水が足りない。汲んでこよう」ということでしょうか。よそ見すると口からうまく入らない様子。「Aくん、こぼれてる。よーく見て」と声を掛けるとじっと手元を見るようになりました。ペットボトルが満タンになって水があふれても止めようとしないAくん。「Aくん、水道のお水が無くなる! もったいない! 止めて!」と声を掛けました。水やモノを大切にする気持ちも機会を捉えて伝えていきたいことです。すると「きゅっ」と蛇口を閉めてくれました。人の話をしっかりと聞いて、納得して応じてくれました。

汲んできた水をすべてボウルに入れ、混ぜ始めると・・・これは、何色というのでしょうか?! Aくんは勢いよく混ぜるので、周囲に飛び散りそうになり、



大人はハラハラどきどき！ もっと気温が高くなったら、外に出て思い切り水遊びや色水遊びをしたいですね。

その後、Aくんは満足したのか、この遊びはここで終わりました。



粉や水を混ぜていく中で、その変化をしっかり見て感じたAくん。素材の特性や感触など、たくさんの学びが感じられますね。子ども達は、自由感のある中で本気で遊び、学んでいることがよく分かりますね。

小麦粉粘土の楽しみ方②



粘土を両手で長〜く伸ばしたら、蛇のようになりました。Yくん「蛇が出来たね〜。大きい口、開けているよ」と口を開けて長い舌を付け、「何を見ているのかな」と目を付けると、さらに蛇らしくなってきました。するとYくんは、口から長く伸びた舌を引っ張って取ってしまいました。あらら・・・取れちゃった！ 面白い！ その後、蛇の口に「みかんをどうぞ〜」「むしゃむしゃ（食べ物や蛇の口に入れて食べる真似をする）」「りんごもどうぞ〜」「むしゃむしゃ」と続けていると、Yくんも蛇の口元に粘土のご馳走を差し出してくれます。何でもむしゃむしゃと食べる蛇さん、しばらくこの遊びを楽しみました。なんとも食いしん坊な蛇さんごっこでした。

平日の開催日を追加しました

9月 2日（金） 2月 24日（金）
 9月 9日（金） 2月 28日（火）
 9月 16日（金）
 9月 23日（金）



<6月の予定>

3日（金） 休み
 7日（火）
 10日（金） 休み
 14日（火）
 17日（金）
 21日（火） 休み
 24日（金） 休み
 28日（火） 休み

<7月の予定>

1日（金）
 5日（火）
 8日（金）
 12日（火）
 15日（金）
 19日（火）
 22日（金）
 26日（火）
 29日（金）

親と子の広場のご案内

～ 小さな“さくらっこ”～

日時	火・金曜日 10:00 ~ 11:30
場所	ミリアム館 1階 保育室
年齢	0歳~就園前
参加料	無料
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円（年1回） ※おうちの方と一緒に参加してください
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や着替えなど、必要と思われるものを各自でご用意ください
担当	奥田美由紀 長谷川美香 ※学生も勉強のため参加します。

桜の聖母短期大学

📍福島市花園町 3-6 ☎ 024-534-7137（代表）